

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和6年7月4日

【観測結果（調査日：7月2、3日）】

7月2日に伊勢湾、3日に渥美外海の観測を実施しました。

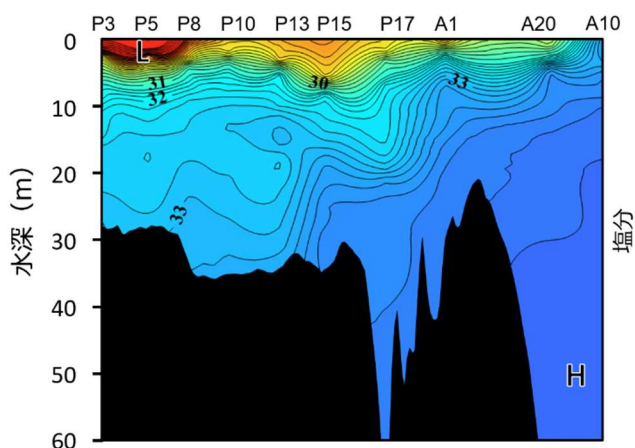
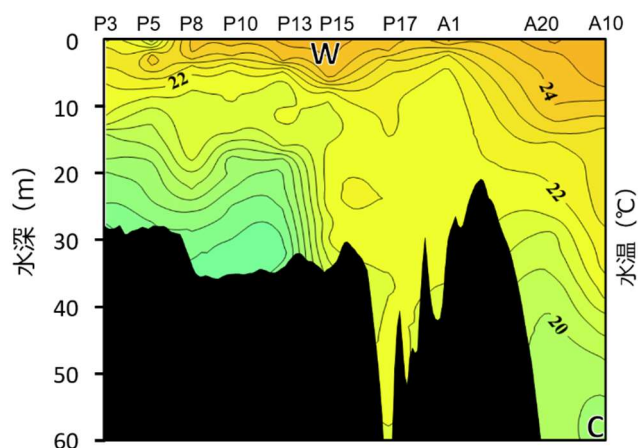
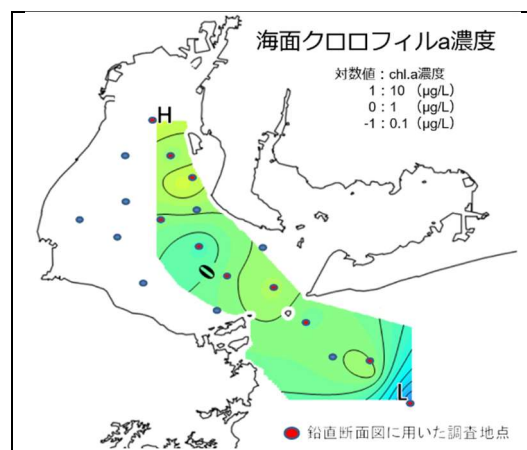
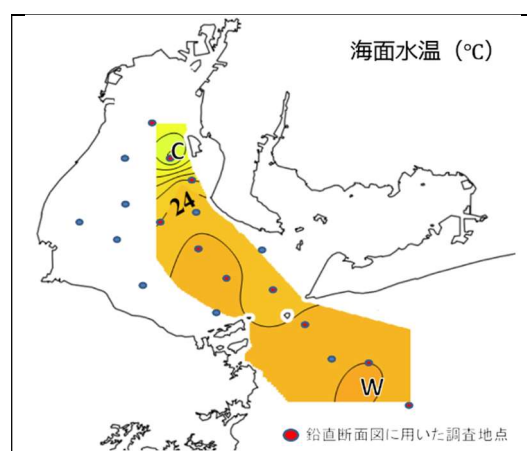
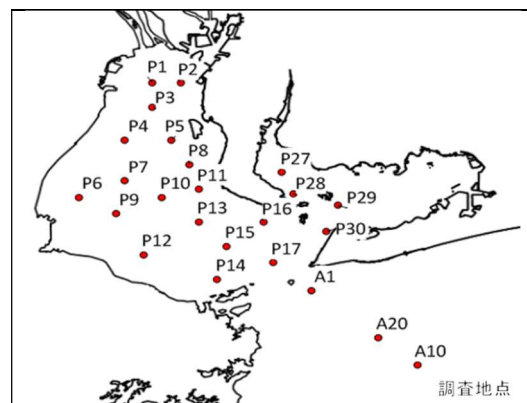
【水平分布（調査点：P3～A10）】

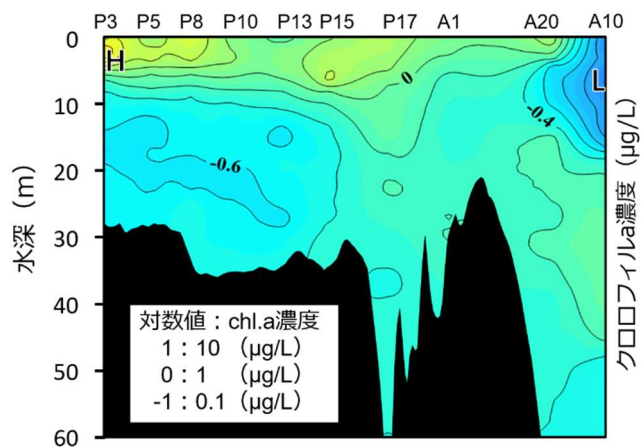
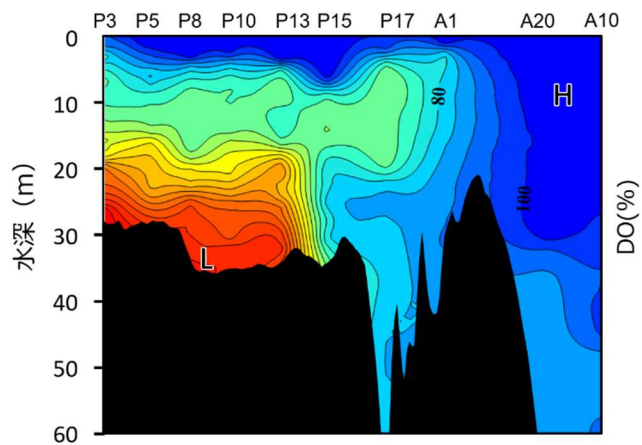
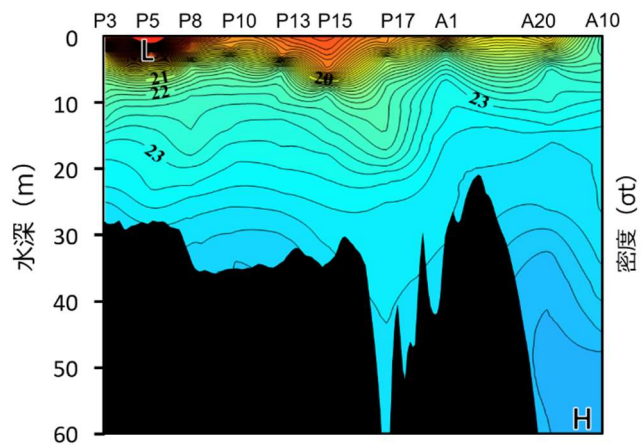
海面水温は、日射と気温の上昇の影響により内湾の湾奥部を除いて高温傾向となっています。湾奥部は約 21℃であり、降雨後の河川水の影響で低温の水が分布しています。

海面のクロロフィル a 濃度は、伊勢湾の湾奥と渥美外海の沿岸域で高くなっています。

【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

降雨後の河川水の流入によって、伊勢湾～渥美外海の沿岸（A1 および A20）の表層は、低塩分の軽い水が分布しています。加えて、気温と日射の影響で表層は温められ、成層が発達しています。その結果、海水が上下で混ざりにくく、酸素供給の乏しい湾奥～湾央（P15）に貧酸素水塊（溶存酸素濃度 30%以下）が分布しています。渥美外海は、低温かつ高塩分の重たい水が這い上がる湧昇がみられ、水深 30m～50m で沖に向かってクロロフィル a 濃度が比較的高濃度となっています。





※図中の値は常用対数値です